

2年生「いのちの大切さ」講話

9月16日（土）に、記念講堂小ホールにて益川順子先生（宇都宮短期大学人間福祉学科 専任講師）による講話「いのちの大切さ」が行われました。

いのちとは何か、生命の誕生は奇跡であること、そして世界の子供たちが置かれている現状など、益川先生の豊富な経験談に生徒は真剣に耳を傾けていました。また、改めて自分自身と向き合い、ワークシートを用いて自分の良いところを探したり、5年後の自分への手紙を書きました。

立志を迎える中学2年生にとって自分と向き合い「未来のライフデザイン」について考え創造するきっかけになりました。

